

平成 23 年 7 月 21 日
国土交通省水管理・国土保全局
海上保安庁

国土交通省水管理・国土保全局・海上保安庁同時発表

海上保安庁・国土交通省水管理・国土保全局連携による
東北地方太平洋沖地震による津波後の海底地形測量の実施結果について

航空レーザー測量による海底地形測量の結果、東北地方太平洋沖地震による津波後の仙台湾沿岸の広範囲な海底地形の状況が、初めて詳細に捉えられました。

この測量結果は、被災地域における復旧・復興計画の策定等を支援するための津波浸水シミュレーションや海岸の侵食対策の検討に用いるほか、海図の補正等にも活用していきます。

海上保安庁と国土交通省水管理・国土保全局^{※1}は、平成23年6月11日から21日までの間、仙台湾及び宮古湾において、航空レーザー測量による海底地形測量を連携して実施しました。

今般、仙台湾沿岸(宮城県仙台市～福島県相馬郡新地町)における測量データの解析が終了し、東北地方太平洋沖地震による津波後の広範囲な海底地形の状況が初めて詳細に捉えられました。(詳細別紙参照)

今後、宮古湾の測量データについても解析を進めるとともに、得られたこれらの測量結果は被災地域における復旧・復興計画の策定等を支援するための津波浸水シミュレーションや海岸の侵食対策の検討に用いるほか、海図の補正等にも活用していきます。

<問い合わせ先>

○海上保安庁海洋情報部海洋調査課 Tel03-3541-3815(直通)

課長補佐 富山 新一 (Tel03-3541-3811(代表)内線 621)(レーザー測量関係)

○国土交通省水管理・国土保全局海岸室 Tel03-5253-8472(直通)

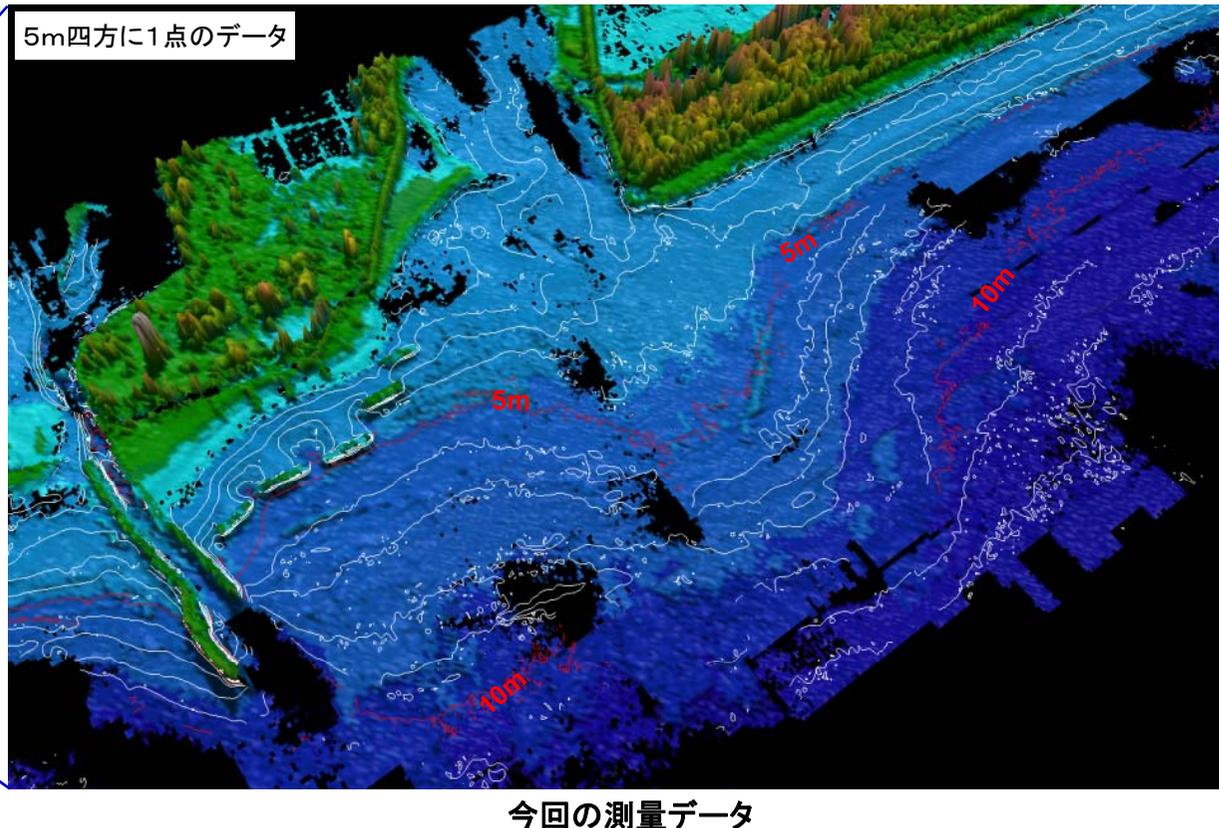
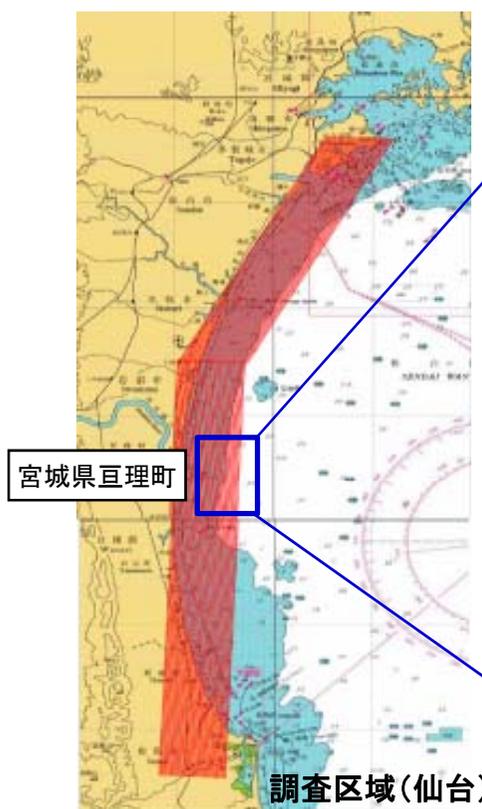
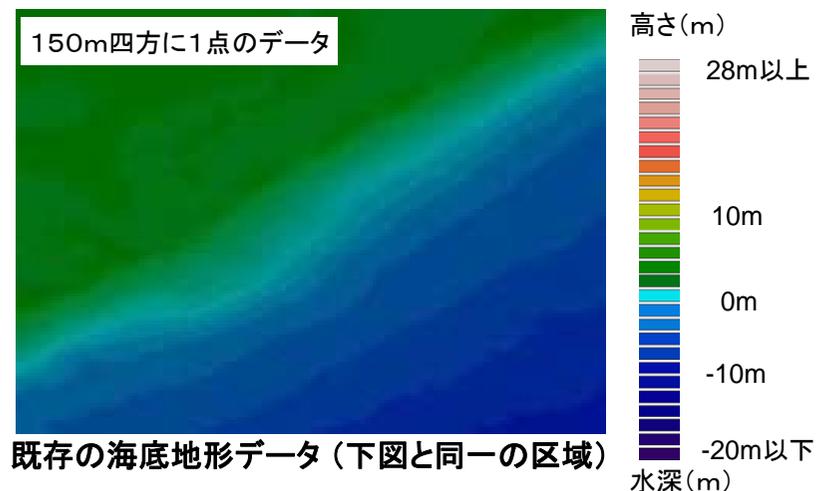
企画専門官 林 雄一郎 (Tel03-5253-8111(代表)内線 36322)(海岸関係)

※1 国土交通省の組織再編により、旧河川局は、水管理・国土保全局となりました。

海底地形測量の実施結果(測定の精度)

航空レーザー測量による海底地形測量の結果、東北地方太平洋沖地震による津波後の仙台湾沿岸の広範囲な海底地形の状況が、初めて詳細に捉えられました。

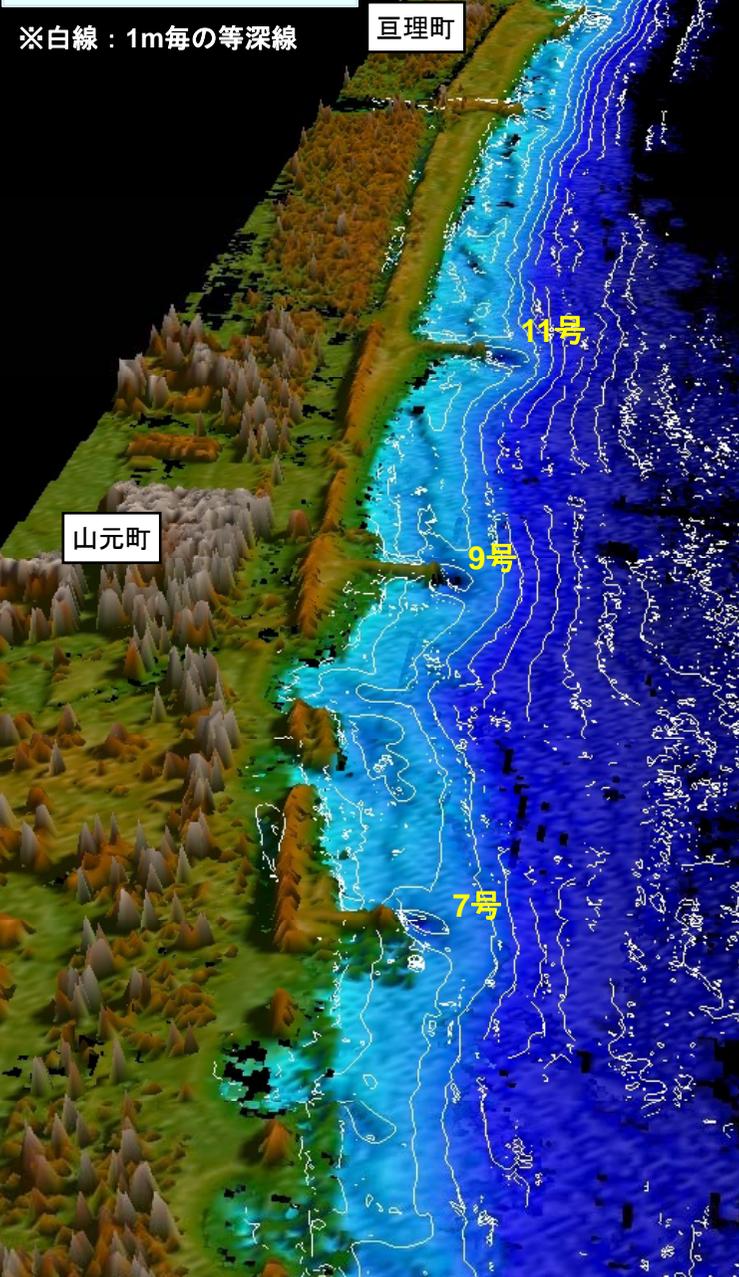
この海域の既存の海底地形データ(150m四方に1点程度)に対し、900倍の高密度(5m四方に1点)のデータを取得し、詳細な海底地形を三次元的に把握することが可能となりました。



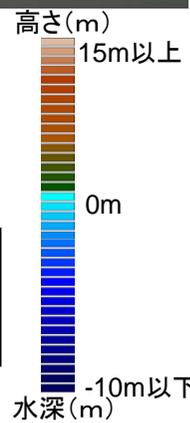
仙台湾南部海岸 被災前後比較写真



今回の測量データ



- ・浅海部の起伏等の詳細な海底地形を面的に取得
- ・海岸堤防の被災状況や海岸線・海底の侵食状況を確認
- ・今後、継続的にモニタリングを実施する予定

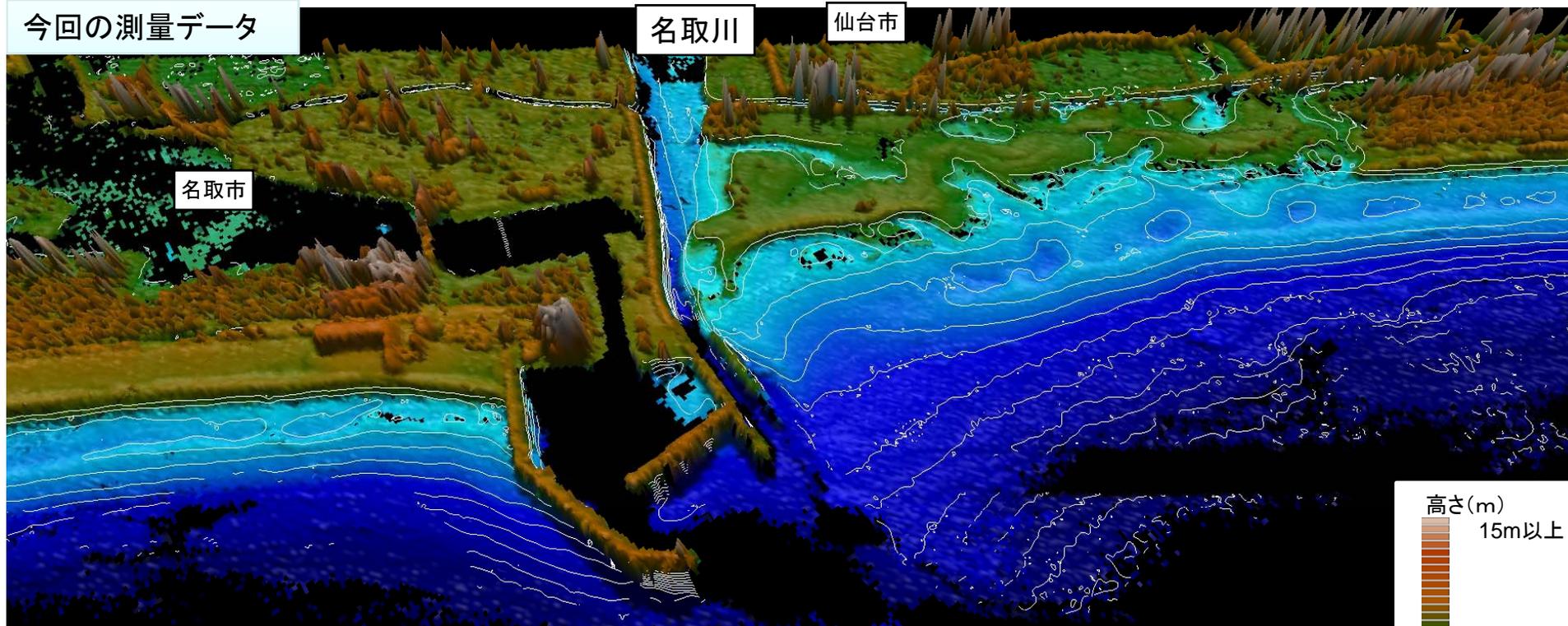


今回の測量データ

名取川

仙台市

名取市



名取川河口部 被災前後比較写真

被災前

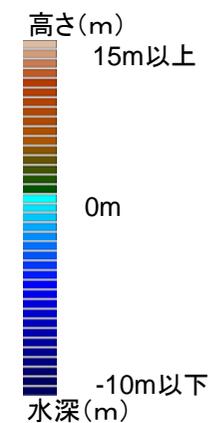


【平成21年10月12日撮影】

被災後



【平成23年3月18日撮影】

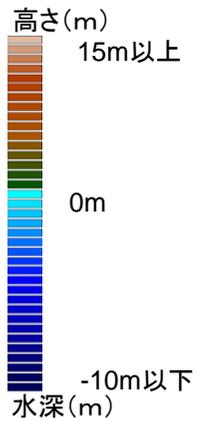
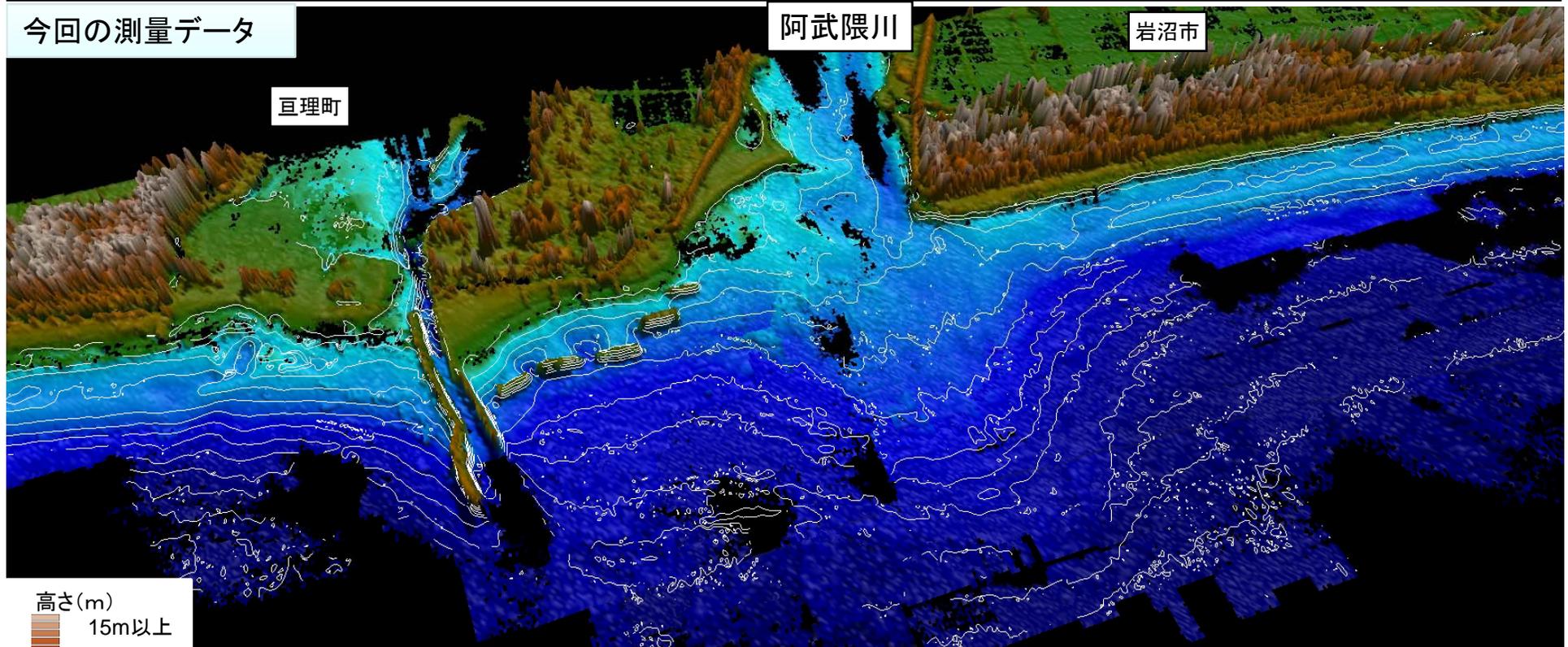


今回の測量データ

阿武隈川

岩沼市

亘理町



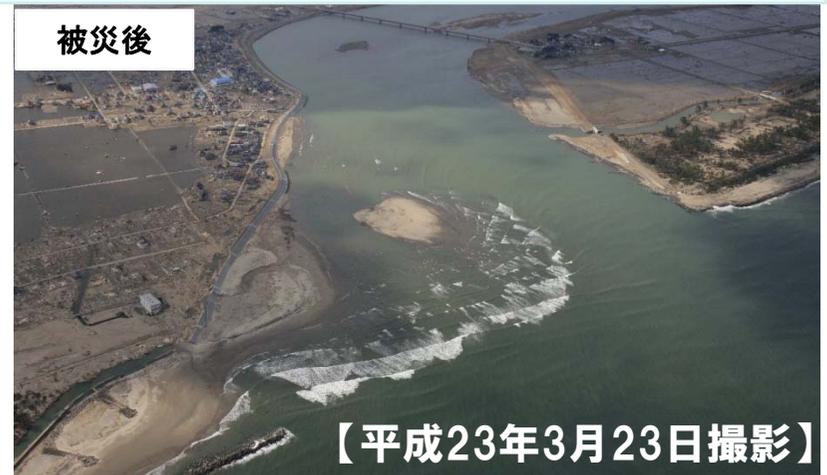
阿武隈川河口部 被災前後比較写真

被災前



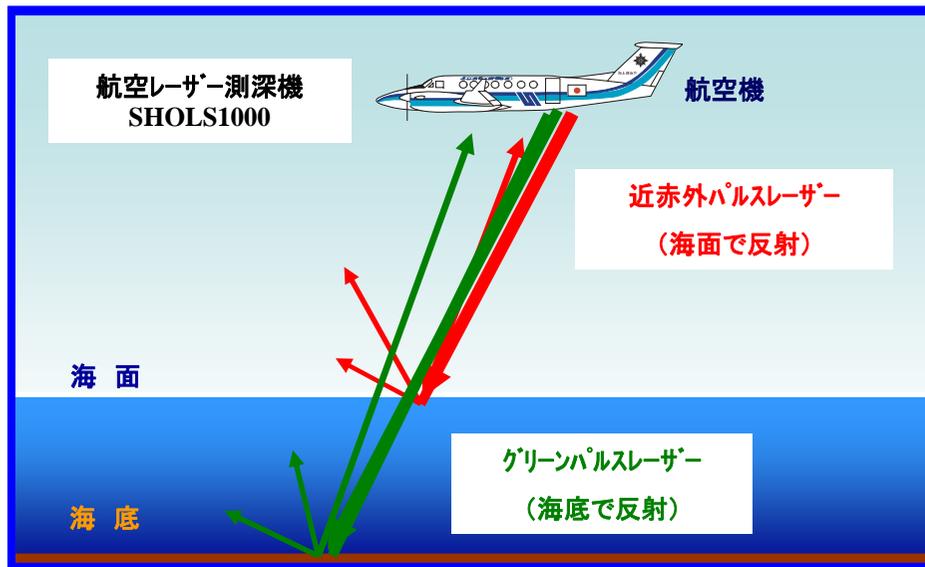
【平成22年10月2日撮影】

被災後



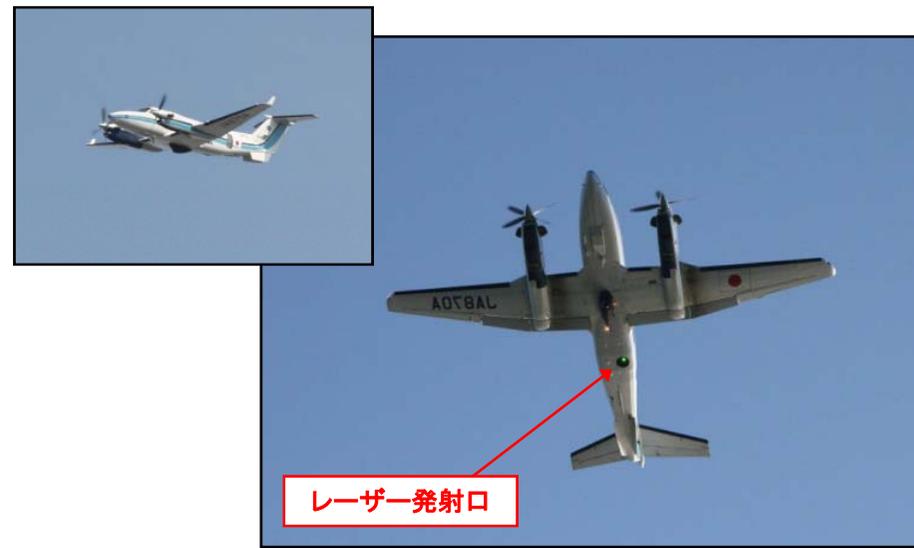
【平成23年3月23日撮影】

航空レーザー測量の原理



海面・海底からの反射波の時間差から水深を計測

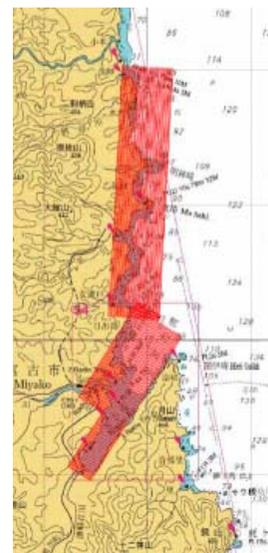
測量中の航空機



航空機によるレーザー測量イメージ



調査区域(仙台)



調査区域(宮古)

スケジュール

	6月	7月
海上保安庁		
航空レーザー測量	6/11~21	
解析		
水管理・国土保全局		
透明度調査	6/3, 5	
潮位観測		